



No.4. 2024. 6. 28

記録すること

みなさんは日常的に何か記録されていることありますか？日記だったり写真だったり、家計簿、食事記録などいろいろありますね。私は書くことは好きなのですが続けることは苦手です。日記は何度もはじめましたが、かなりとぎれとぎれです。「三日坊主」という言葉を聞くと耳も心も痛いんです。ちなみに夫は記録するのが得意なようです。何年も前のレシートもきちんと記録されていて、どこのレストランでいくら支払ったか、これを買ったのはいつなのか、聞けば教えてくれます。彼がやっているマラソンの練習内容もばっちり記録されています。

夫から「記録は後から見返すと財産になるよ」と言われたことがあったので、息子がお腹にやどった時から、子どもの成長記録はあるといいなあと思ってました。写真や動画も生まれたり撮るかもしれないけど、アルバムにまとめるなんて私には難しそう。何か私にもできそうなことはないかなあ。思いついたのがブログでした。SNSは記録しやすいけど、昔の記録を探しにくいし、後から記録を足すのがやりにくい。ブログだと写真も簡単に掲載できそう。パスワードをかけて家族だけが見られるようにしました。週に1回を目標に、撮った写真にコメントをつけて載せました。長い文章の時もあれば、ほぼ写真のみの時もあります。そして、自分で予想していた通り、週に1回が難しい時は何度もあったし、忙しかったり低調だったりして月に1回も載せられない時もありました。それでも妊娠の時から始めて今年で12年たちました。

今では私が見返して楽しむだけでなく、息子も時々見て感想をくれたりします。何年前の何月に何をしていたか、どんなだったかがすぐにわかるので、「グッジョブ私」な気分です。「この前の事ブログに載せた？」と息子も聞いてくるので、まだ続けても大丈夫そうです。自分が小さかった時どんなだったかは、見ていて楽しいらしく、小さい自分を見て「かわいい」とつぶやいています。いつまで続けるかは決めていませんが、ブログはプレゼントするからね、と伝えています。財産になってきたでしょうか。

財産と言えば、このぴっぴだよりもです。息子が在園していた時にいただいたぴっぴだよりは大切にファイリングしていますし、いつか息子にプレゼントしたいです。

そして、記録の中で「これやっておけば良かったー」と思ったことがあります。ぴっぴの保護者会の中で、「子どもが話したことを記録していて、これが面白い」という話を聞いた事がありました。やってみたいと思っていましたが、これって聞いたときにすぐにメモしないと忘れてしまうんです(私だけ?)。ブログは数日たってから書くこともあり、その頃には発言内容までは忘れてしまったりして、たくさん記録できなかったです。メモ大事！

あと、私の母が私や弟が小さかった時の声をカセットテープに録音していました。母がカセットデッキを私と弟の前に置き、「なんでも話してくれていいよ」と言って、その間に家事などをしていたようです。そのテープを中学生ぐらいに聞かせてくれて、かわいいな！弟と私、と思いました。息子は最近声変わりしたので、声をもっと残しておきたかったなあとそれもちょっと後悔。

これからは、あえて手書きでの記録をはじめてみたいなあとはぼんやり思っています。何度も挫折している日記でしょうか。もし皆さんがされている記録方法で楽しいよ、というのがあればぜひ教えてください。

：米田典子

木 木木であそぼう! つくろう! みつけよう! 7月

先日のくるみの目で、「木の赤ちゃんをみつけよう」というプログラムを行いました。

昨年まで笹に覆われ、モミヤ松などで一年中日景の森として覆われていた森が伐採により、日の光があたり、今まで土の中で眠っていた様々な木の赤ちゃんたちがこの春一斉に目を覚ました。

その種類の豊かなこと。ざっと私がみつけただけでも、ヤマザクラ、ミズナラ(どんぐり)、クリ、コナラ、フジ、モミジ、クマヤナギ、マツカラマツ、ガマズミ、ツタウルシ ▲ チョウセンゴシ etc... まだまだあります。そんな豊かな森の木の赤ちゃんたちを知って欲しくて、こんなものをつくりました。



この季節、芽えたミズナラやクリの赤ちゃんは根のこにどんぐりがついてます!

知づけて!

木の赤ちゃんズ♪
(とう素敵なお絵本もあります!)



この木の赤ちゃんたちは芽生えることはできましたが、大きく育つためには、より明るく広い場所が必要になります。おひこして、大きく育てましょう!

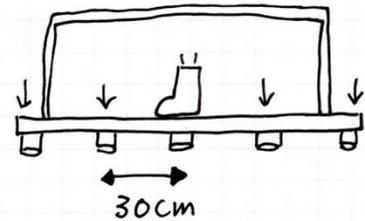
森の中にあると色と形が分れてわかりづらい赤ちゃんたちですが、こうしてみると、ほんとにかわいい! 森で拾った枝でつくったネームプレートをつけてあげたら、1本1本がとても愛おしく感じました。何人もの方から「かわいい!」「欲しい!」「買いたい!」「(笑)つくりたい!」というお声をいただきました! 木材料はホームセンターなどで売っている小さな種まきポット(土は還る素材)に森の土をいれ、木の赤ちゃんをうき。表面に苔をいって枝のネームプレートをさしてあげましょう。ぜひぜひ、赤ちゃんたちをみつけたらおひさまのあたる場所へぜひつれだしてあげてくださいね!

- ・ファイバーポットなどという名でも販売されています
- ・しばらく金置賞しに日当たりのよいところにそのまま植えてあげてください。



土だより

6月12日(水)、くり・おおくりのみんなで
大豆の種まきをしました。今年もあらび(新井征幸さん)
お手製穴あけ機の登場です。→
畝に置いてくらくらと足でふみこむと、
30cm間隔の穴があいて、そこに
大豆をまいて土の布団を手で
かぶせます。



味噌、しょうゆ、とうふ、系内豆... なじみ深い大豆
製品がたくさん。ひろびろではきなこ作りも欠か
せませんね。少しずつですが、身近な食べものを
自分たちの手で作れたら...

そのための第一歩は種をまくこと。できたらタイミングは
逃したくないなあ。そしてそれらが育つのを たまに
必要なら草取りをして、大きくなる様子を身近で
みながら待ちたい。みんなで調理して味わう日を
楽しみに。少し時間がかかることを わくわく
しながら ごきげんに。

はるこ